



高段者剣道大会開催される

去る3月13日午前10時より武蔵大学錬心館で、第一回高段者剣道大会が開催された。本会員で5段以上の段位取得者12名が参加した。天気晴朗なれど寒い一日だったが、試合は何れも気と気が鎬を削るレベルの高い内容となった。優勝は櫻村哲夫兄(平3卒 五段) 準優勝は野村泰久兄(昭50卒 五段)、そして三位には勝部徹兄(昭57卒 六段)と決まった。

第一回高段者剣道大会に優勝して

平成三年卒 櫻村哲夫

先日行われました第一回高段者剣道大会に於いて、諸先輩方を差し置いて思いがけず優勝してしまいました。

本大会は剣道五段以上保有者の大会でありますので私が参加するには多少敷居が高い様な気がして気後れしておりました。しかしながら、五段以上なら、女性の参加は無いと思いきや、牛久大仏から飛び降りるつもりで、エントリー致しました。(何故なら、女性との試合ではどうも分が悪く、ここ一番という時に勝てない。)結果は、表記のとおり成績を収める事が出来、非常によく、又今後この大会が行われる度に第一回の優勝者として記録される事になりますので多少恥かしさも感じております。

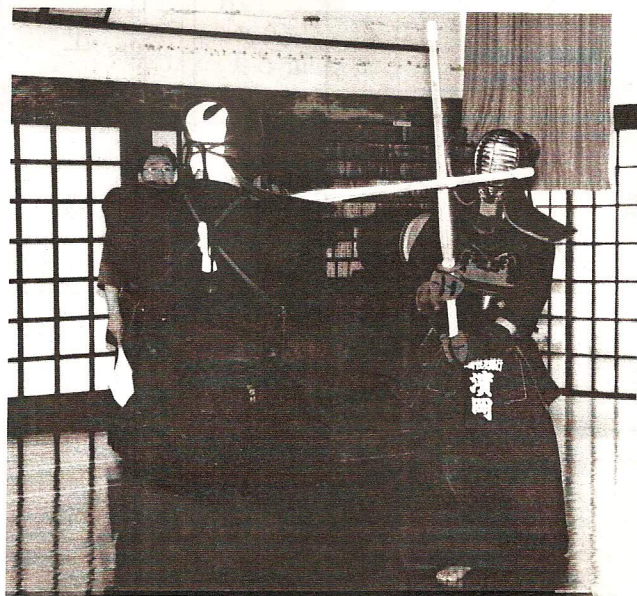
さて、前置きはこれぐらいに致しまして、今大会の私の軌跡を紹介し、試合の感想を述べたいと思います。

ブロックでのリーグ戦では、小池幸夫先輩、笹川敏広先輩との対戦となりました。最初は小池先輩と試合をしました。試合が開始さ

れ竹刀を合わせた瞬間、攻めが厳しく崩すのは容易で無いと感じました。ならば捨て身と迷いを消し、小手に来るのを面にとんだところ小池先輩の面を捉えていました。一本先取したことで、気が楽になりましたが、自分から攻めて崩して打つのは難しく、手を拱いていました。面にくる気配を感じ小手を攻めたところ、たまたま捉えて、勝ちを拾いました。

試合後、稽古を戴きましたが、攻めは厳しく容易には打たせてもらえないばかりか、正確に打突部位をとらえており、体がよく暖まる前の試合だから、勝ったものの、順番が違っていたら、私の優勝は無かったと、感じました。

リーグ戦の二試合目は私が四年生の時、京都で行われた団体戦の全国大会に連れて行ってもらい、武蔵大学として初めて一回戦を突破した時の監督である笹川先輩との対戦でした。先輩も攻めが厳しく崩すのは難しい。又突き技もあるため、慎重に攻めておりました。が手詰感を覚え、出て来るところ



を捨身で面に跳び一本目を、同じような形で二本目も奪う事が出来、辛くも勝利しましたが、先輩が放った片手突きに「やられた」と感じており、もし一本返されていたら、違った展開になっていたと思われま。

何とかリーグ戦を突破し、決勝トーナメントに駒を進めることが出来たため、結果を気にすることなく、高段者として恥ずかしくない正しい剣道で挑もうと、再度心に誓い対戦致しました。

(続きは四頁に)



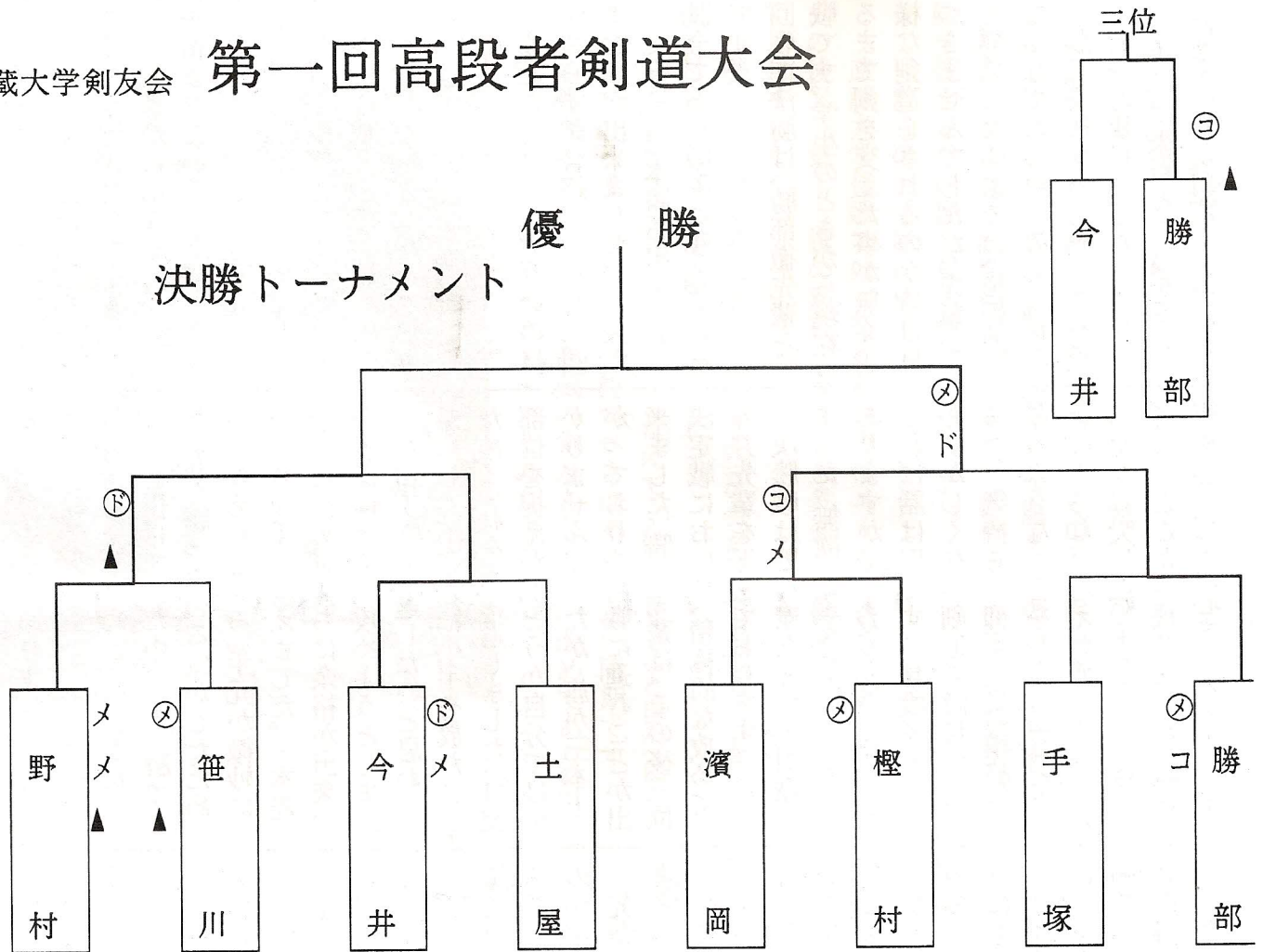
Ⅲ

	今井	日暮	手塚
今井 (1位)		⊗メ	⊗メ
日暮 (3位)	△ ▲		△
手塚 (2位)	△	⊖メ	

Ⅳ

	土屋	勝部	坂井
土屋 (2位)		△	⊖コ
勝部 (1位)	⊗メ		コメ ▲
坂井 (3位)	△	⊕△	

武蔵大学剣友会 第一回高段者剣道大会



I

	濱岡	野村	佐藤
濱岡 (2位)	△	△	⊗
野村 (1位)	⊗コ	△	⊗メ ▲
佐藤 (3位)	△	△	△

II

	小池	檜村	笹川
小池 (3位)	△	△	△
檜村 (1位)	⊗コ	△	⊗メ
笹川 (2位)	⊗メ	△	△

トーナメント一回戦は、私の一年先輩で素敵な奥様と、かわいなお嬢様のいらっしゃる濱岡一充先輩との対戦です。先輩は住友銀行が実業団で全国優勝したときにも同銀行の剣道部に所属して十分な稽古を積まれている事と、一学年後輩の私の手の内を十分承知しているものと、思われたので厳しい試合になると予想されました。案の定、お互い攻め手を欠いておりましたが、私が放った小手を躲された後、先輩の体が一瞬居着いたため、すかさず表からの面で一本先取しました。その後、お互いの打突は決まらず試合終了となり二回戦に進む事が出来ました。今大会に於いて唯一、二本勝ち出来なかった試合であり印象に残っている試合です。

二回戦準決勝は、勝部徹先輩との対戦です。学生のおかげから現在に至るまで剣を交えた事が無く、どの様な剣道をされるのか皆目見当が付きませんでした。先輩の試合を拝見した印象では、積極的

一本になりませんでした。咄嗟に出した技であり、体勢が不十分であったため仕方ありません。その後、前に攻めて出て来る先輩に対し気持ちで負けぬよう、引かないよう心掛けていた中での一瞬でした。面を誘っている気がしたため、半歩攻めたところ、手元が微妙に上がり小手を捉えました。一本先取したため気持ちに余裕が出来、今度はゆっくり攻めようと思いましたが、早く一本返したいと思われ

ました。無欲で望んだ今大会ではあります。高段者として恥ずかしくない剣道で尚且つ、勝ちたい気持ちを抑え、皆の模範となるような試合をしようなどと、訳の判らない考えが頭に浮かびました。試合が始まるとその様な考えはどこかへ飛びました。試合直後、互いに中心を取ろうとして

いる中で放った私の小手は、打突部位を捉えたかに見えましたが完全な一本とはなりません。その後、近間で勝負をつけた先輩と、それを嫌って間を保とうとする私の攻防が続きました。そうした中、互いに間を切り再び剣が交わり、前に攻めて出る先輩の圧力に引かずに我慢していたその後、剣先を裏から擦り込み、中心線から剣先が外れたその時、夢中で面に飛んだ様です。(実は、決勝での一本目に面を決めたことすら記憶に無いのです。後で濱岡先輩から戴いたDVDを見て、何をしたらかが、分かりました。)

先輩には申し訳ないのですが、今日の私の出来からして勝ちを確信してしまいました。そうなる欲望が出て、今日決めていない胴を打ちたくなくなってしまいました。(突き技でも一本取っていませんでしたが、下手なので、試合には使いません)間合いの攻防の後、引くのを我慢して、色を出さないようにも我慢し面を誘っていたところ、先輩の方が我慢出来ずに注文どりの面を打たれたため、返胴で応じました。結果、旗が上がり優勝が決まりました。試合後の稽古会、おいしい昼食



秋山貴幹兄 理恵さん

その日の午後三時三十分福島県いわき市の「パレスいわや」では昭和六十年卒業の秋山貴幹兄と理恵さんの結婚式があげられていました。同期の中で最後まで独身を守って来た兄の結婚を祝って、同期全員が駆けつけました。

兄からのお手紙には

武蔵大学賛歌では、新郎が自らにエールをきるはめになりその後又一気！ 嫁の親族、友人も大変楽しい結婚式と喜んでくれました。

勢いは、停まることなく続き、四次会が終わり散会したのは、日付が変わった午前一時でした。

小生もよく最後まで持ちこたえて、付き合ったと自分に感心しております。しかし、持つべきはありがたい同期です。一生の感激になりました。武蔵の剣友となつて、改めてありがたい思いで一杯です。……とありました。



四月二十九日 寿 結婚記念日



一杉太一兄 悠子さん

同じ日の午後〇時十五分、沼津市の東急ホテル三階クラウンホールでは、一杉太一兄（平成十二卒）と悠子さん（旧姓中出 平成十四卒）の結婚式が始まるうとしていた。剣道部員同士の結婚は十三組目ですが同じ日に結婚式が重なるのは、初めてです。竹内三郎先生（警視庁）松森信秀先生（警視庁）を始め、多くの剣友会員が招待されました。新郎新婦が、在籍していた当時の渡辺監督から新郎が「四大学剣道大会」で優勝した時の思い出話など、ご挨拶がありました。

若い招待者の多い披露宴でしたが、とても和やかな雰囲気でした。時々涙を見せながらも、新婦悠子さんの笑顔が一杯溢れる印象深い結婚式でもありました。

酒井先生のプロフィール

松森信秀先生ご退任の後、しばらく空席なっていました武蔵大学剣道部の師範に酒井勝先生(教士七段 警視庁勤務)が、就任されました。吉新(四年)と長野(三年)がお話しを伺いました。

☆お生まれはいつですか

昭和二十四年七月八日、東京に生まれました。

☆いつ頃から剣道を始めましたか
近所の国土館大学の太鼓の影響などから、中学一年生から剣道を始めました。

☆どんなお子様でしたか

やんちゃ且つ負けず嫌いな性格で中学時代は足腰を鍛えるために牛乳配達をして日々鍛練し、高校時代は勉強よりも剣道の方に大変没頭していました。

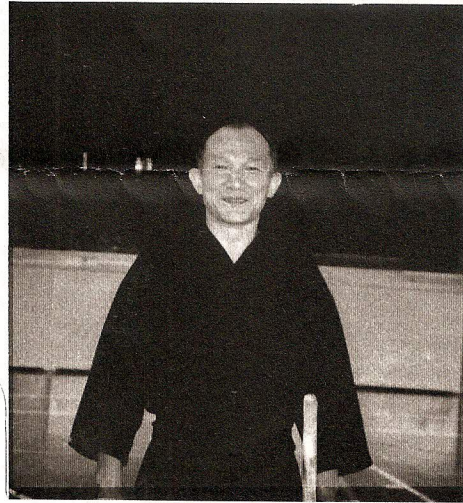
☆大学時代はいかがでしたか。

大学は駒沢大学に進学しました。当時は上下関係も厳しく、しごきに近いような激しい稽古が、毎日続きました。

☆そして卒業後は、警視庁に入庁されましたが。

卒業後は警視庁に入り、機動隊に配属になり、特練に選ばれました。ここでは、切返しや打込み等徹底的に基本を習練しましたが、牛乳配達時代に足腰を鍛えていたのが、役立ちました。

☆一刀流を始められたのはいつ頃ですか。



助教時代です。その頃スポーツ化した現代の剣道に疑問を感じており、一刀流と出会い、古流に触れることで、剣道を深めようと考えました。現在も、小野派一刀流の組太刀の修行中です。

☆酒井先生にご指導を頂く上で私達が、気を付ける事は、何ですか。

決められた指導者の指示に素直に従う事です。

現在、酒井先生から「切返し」を始め、正しい基本や一刀流の「切落し」、座禅の息遣いに至るまで、様々なご指導を頂いています。

部員一同、様々な大会に向けて精進して行きます。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

監督になるにあたって 野村泰久

本年二月の追い出しコンパで、関根監督は四年生と共にその任を退き新たに同期(昭五十五卒)の野村泰久氏が就任しました。

青天の霹靂というか、寝耳に水というか、ひよんな事から同期の関根君の後継監督を引き受けることになりました。

どちらかといえば、テレテレと剣道を自分のペースで稽古するところが好きな我が儘剣道で、「ヘタノヨコスキー」でしかない私に、この役目が回ってくるとは思っていません。心の中穏やかではありません。

しかし、諸般の事情を考えると、断ってばかりもいられません。考えてみれば、長いブランクのあった私を受け入れてくれた当時の主将の一杉君をはじめとした武蔵大剣道部や、稽古のたびに無言ではありましたが課題を示していただけた前師範の松森先生、そして剣友会諸兄の適切な指導があればこそ今の私の剣道です。そう考えれば引き受けて当然です。

私の監督就任を現役の諸君はどんな思いで迎えてくれていたのでしょうか。幸いにして酒井先生に新師範になって頂くことができましたので現役の諸君の剣道人としての成長は、本人にその気さえあれば確実なものとなりました。



青春の一時期、何かをがむしゃらにやってみることはその後の人生に大きな意味を持ち得ます。そこには肉体的にも精神的にも苦しさを伴うかもしれませんが、しかし、それを乗り越えたと何かが開けてきます。私は現役の諸君のその頑張りの手助けができればと思います。言い古された言葉ですが、現役の諸君には、「皆は一人のために、一人は皆のために」を胸に、皆で皆を引き上げて強くなつて欲しいと思います。弱いものを弱いと切り捨てていては本当の強さは生まれません。私も含め皆で精神と肉体とそしてその統合体としての剣道を成長させていきましょう。

関根監督 勇退

「4年間の監督稼業」

前監督 関根 剛

平成十三年春、四大学剣道大会の決勝に新入生三膳がいた。

新潟明訓のレギュラーだった彼は、その実力どおりの活躍で快進撃、結果2位だったが、準決勝では、その後、ライバルとなる成蹊大学の越智（高輪高校出身）に快勝。戦い終わり、「よくやった」と慰労したら、一言「あいつはレギュラーじゃないですから」。なんと頼もしい新人が入って来たものだと感じた。

秋の四大学剣道大会、春と同じ成城大学体育館で行われた。緒戦で学習院に惜敗し、成城に勝ち、成蹊との一戦で接戦をものにし、ほっとしていると、成蹊のOB会幹事長で私と同期の三浦君が駆け寄って来て「お前、対戦表見て無いだろう」と言う。しまったと思っただときは既に遅し、勝ち数勝者数で、成蹊と同点、一本差で前年に引き続いての優勝を逃していた。監督の責任の重さを痛感した瞬間であった。

平成十四年春の四大学大会、学習院大学での大会後の稽古会、私

の防具を片付けてくれたのは「三笠宮令嬢の瑤子女王」だった。

秋の大会、成蹊、学習院に負け、最後の成城戦、四年生で初心者から剣道を始め、今まで公式戦に出たことの無い石渡を使った。結果、見事な二本勝ちを収め、終了後の彼の嬉し涙に思わずもらい泣きをした。梶山の全国出場決定の時でもこんなには感動しなかった。監督として、一番嬉しかった場面でもあった。

平成十五年五月、関東学生選手三回戦、梶山は前二回の試合に接戦を制し、勢いがあつた。これに勝てば全国である。相手は日体大の選手、さあ始まった、とちょっと脇見をしたその瞬間十八番のコテが炸裂、白旗三本が上がっていた。その瞬間を見ていなかったのである。その後、粘りに粘り一本勝ち、武蔵にとって久しぶりの全国出場となった。

大阪での大会は、地元在住の伊藤先輩、小池先輩、コニカにお勤めの松山先輩の応援を受け頑張ったが、中部大会の選手に一回戦

呆気なく全国大会は終わってしまった。その年の秋の四大学大会は、成蹊大学

剣道場で行われ、ここでも学習院、成蹊に破れ、成城との一戦で前総崩れで後がなくなった。その土壇場で、三膳、梶山吉田の三年トリオが踏ん張り劇的な逆転勝ち、百パーセント負けの試合をひっくり返した底力を感じた一戦であった。平成十六年度の四大は武蔵が主管で、なんとしても優勝をと思っていたが果たせなかった。しかし、成蹊戦は、やはり前陣が崩され、絶体絶命のところから四年生三人が踏ん張り引き分けに持ち込んだ。特に大将三膳は越智に目の覚めるようなメンとコテを決めての勝ち称賛に値する。

私の監督生活の思い出は、まさに三膳で始まり、三膳で幕が引かれた感がする。三膳、梶山、吉田は、監督一年目に新人として入部し、まさしく一緒に四年間を過ごした戦友である。私の息子と全く同世代という事もあり、親子同然の付き合いをさせてもらった。こいつ達は、私のかけがえのない息子になった。ありがたい、大輔、裕次郎そして正明。

歴代のキャプテン渡邊博之、小野、高橋良平、三膳、小倉、星野その同期生たち、中澤たち一年生組も本当にありがとう。

私と同期の次期監督を皆で盛り上げ、一層の活躍を期待する。最後に、関根日吉先生、松森先生、竹内先生、酒井先生を始めとする警視庁関係の各先生方や剣友の先生方、OB会の先輩諸氏の心温まる御指導のおかげで、曲がりなりにも監督稼業をまっとう出来たことに心から感謝申し上げます、筆をおきたい。

平成十七年四月



追い出しコンパ

一月十二日六時より、江古田の料亭「むらた」に於いて、本年度の追出コンパが開催されました。大学も剣道部も無事卒業したのは、三膳大輔、吉田正明、梶山裕二郎の三名です。明鏡杯準優勝、全日本学生選手権への出場と、輝かしい戦績を残した三名です。

先日は、私たち卒業生のために盛大な追い出しコンパを開いて頂きまして有難うございました。

私の大学四年間を振り返ると、剣道部あつての四年間でした。素晴らしい先生方、剣友会の先輩方そして剣道部の仲間を支えられた四年間であり、剣道部なくしては語れないものだったと感じています。

剣道を通して様々な方々と出会えたことは尊い経験であり、その中から学んだことは全てが他に替えがたい財産です。私が関わらせて戴いた全ての方々に心から感謝しています。本当にありがとうございます。

話は変わりますが、個人的に一点だけ心残りがあります。それは大した実績を残すことが出来なかったことです。四年間の部活動を終え、自分を見つめ直すと、そのことだけが心残りです。仕方ありません。

大学の部活動は高校までの部活動とは違い、各自の自主性に任せられるところが大きいと思います。だからこそ自分で剣道について勉強しそこで学んだことを実行する

ということが大切になってくると実感させられました。そのような環境で結果が伴わなかったということは、自分への甘えがあったことと反省しています。しかしここで腐るのではなく、その悔しさを胸に、これからの人生において全力投球していこうと思う次第です。後輩の皆様には、私のような思いをしないよう各自が自分の中で目標をしっかりと持ちそれを忘れることなく日々努力して欲しいです。現在、私は新潟に帰郷し目標に向かい予備校に通うに日々を過ごしています。そのため稽古に顔を出すことは難しいのですが、都合がつき次第、防具と竹刀を持って上京するつもりです。最後になりましたが、関根先生をはじめ御指導頂いた先生方、剣友会の先輩方そして、剣道部の仲間達、本当に四年間ありがとうございました。これからもお体に気を付け、元気に頑張ってください。又、武蔵大学剣道部の益々のご発展を心より、お祈り致しております。失礼しまーす!!!!

三膳大輔

私にとって四年間の大学生活はとても有意義でした。四年間で真面目に講義に出たことは全くなくむしろ部活に出るために学校に通っていた様なもので今となっ

ては授業料を返して欲しいという思いにかられます。それというのでも、とても素晴らしい先輩方に恵まれ、それまで無垢で都会の波に飲まれないように必死だった私に色々なことを教えていただいたおかげで、勉強どころじゃなくなっただけです。起きたらもう部活の時間だというのが、ほとんどでした。しかし部活では、今まで嫌々ながら剣道をしてきた私にとって初めてのびのびと楽しみながら剣道をする事が出来、新たな自分を見出す事が出来ました。現役の皆様におかれましては私のようにはならず益々学業稽古共に精進して下さい。又、先生諸先輩方に於かれましては、在学中親切に御指導して戴きありがとうございました。今後とも御指導、ご鞭撻の程よろしく御願ひ致します。

吉田正明

先日は、私たちのために素敵なコンパを開いて下さり、本当に有難う御座いました。今でも、裸になったことや、学生最後のイヤサカをやったことを思い出します。

学生の時は、主務としてダラダラと過ごし、練習中は人ほど向上心もなく、邪まな気持ちでやっていました。部員の皆さんには部活動が好きだと思われていたみたいですが、負けたら格好悪いと思っただけで頑張っていました。勘違いしないで下さい。

そんな僕に負ける部員の皆へ。あんまり真剣に悩んでもしょうがないですよ!とにかく楽しんでやってみよう!とにやにや遊んで下さい。そしたら、ちょっとは強くなれるかもよ。そして、とりあえずありがとう。

OB・OGの皆様、今後とも色々迷惑かけるつもりでいますのでよろしく御願ひ致します。道場では、胴着などを美しくたたみますので、ゴハンを引き続きごちそうして下さい。

梶山裕次郎



新歓コンパ

去る四月二三日江古田「むらた」で新入生歓迎コンパが、行われました。今年は、男子六名(二年生一名)の新人部員が入部しました。残念ながら女子の獲得ならず、今年はかわい一年女子に癒されることは無い上に、男子が増えたことで部室が荒れる危険性が一気に高まりましたが、新入生は個性的で面白く、元気なので、今後の大会では、大いに活躍してくれる事と思います。今後とも宜しくお願ひ致します

氏名	出身高校	段位
佐藤弘之	浦和学院高校	3段
飯島雄大	埼玉県立熊谷西高校	3段
柳瀬正次	埼玉県立妻沼高校	3段
中島弘雅	北海道立室蘭高校	2段
大竹達也	私立順天堂高校	初段
尾島慶宣	私立育文館高校	初段

私は、二年からの途中入部ですが、部員の皆が暖かく迎えてくれたことには、非常に嬉しく思っています。剣道は、中学迄やって、その後止めていたので、数年振りの再開と云うことになりましたが、今は稽古をするのが、楽しくて仕方ありません。基本を常に重視し、成功法の剣道を目指して行きたいと思っています。

一年 佐藤弘之

剣道部に入って、良かった事は、毎日が充実していることです。他の学生が毎日バイトで過ごしている中、バイトだけでなく部活で体の中から汗をかき、とても充実している夏休みだと思います。そして自分は、武蔵大学剣道部の良い伝統は継承し悪いところは変えてゆく。それによって、武蔵大学剣道部は発展して行くのだと思います。今迄の武蔵より一皮剥けた武蔵として他大に名を広めてゆきたいと思っています。尾島慶宣

自分は大学に入って正式に剣道を習い始めました。又、体育会系と呼ばれる部活に入ることも、初めてで何をどうすれば良いのか、未だに右往左往している常態です。しかし今迄に体験した事の無い、世界を経験をしていて、とても新鮮な気持ちで部活に取り組んでいます。これからの抱負として、早く他の部員の実力に追いつくよう努力していきたいと思っています。大竹達也

自分は、大学四年で何か残したいと思ひ、また好きな剣道を続けることで、体力的にも、精神的にも強くなりたくて、剣道部に入部しました。大学の剣道部では師範の先生や先輩方に指導して戴き、正しい剣道と心の鍛練を続ける毎日です。

自分の目標は、四年間続けて、武蔵大学剣道部の伝統を引継ぎ、繋げていくことです。飯島雄大

剣道部に入部して、半年が過ぎました。この半年で多くの事を学び体力的にも人間的にも大きく成長した様に感じます。

入部当初は、体力が無く、日々の稽古は必死でした。しかし、段々稽古を重ねるうちに体力も付き先生や先輩方に多くの技術を指導して戴き、少しづつ、打ちが鋭くなったように思います。一年生なので多くの仕事がありますが同期が助けてくれるので、自分も頑張ろうと思ひます。剣道が大好きです。これから、最後まで頑張ります。そして何処でも通用する技を持てるよう磨いていきます。柳瀬正次

この度、縁がありまして武蔵大学剣道部に入部することになりました。剣道から数年遠ざかっていたので、体育会の部活に入って、

やっといけるかどうか不安でしたが、素晴らしい先輩や同期に恵まれ何とか部員として馴染む事が出来ました。これから様々な事があると思ひますが同期と力を合わせて、頑張りたいと思ひます。中島弘雅



剣道部役員交代

- 部長 伊藤成康 (経学部教授)
- 師範 酒井勝 (警視庁勤務)
- 監督 野村泰久 (昭五士卒)
- 主将 星野将弘 (三年 経学部)
- 主務 高山令 (三年 経学部)
- 会計 斎藤希 (二年 人学部)
- 連絡係 長野靖二 (三年 経学部)

武蔵大学剣友会 平成16年度会計報告 及 平成17年度予算

項 目	H16 決算額	H17 予算額
前年度繰越額	606,472	622,128
収入の部		
口座振替年度会費	952,000	1,000,000
振込他年度会費	33,000	50,000
預 金 利 息	5	0
そ の 他	7,060	0
小 計	992,065	1,050,000
収入の部合計	992,065	1,050,000
支出の部		
関根先生謝礼及び先生方中元歳暮	226,575	225,000
剣友会冬合宿及び合同夏合宿先生方謝礼	140,000	150,000
監督年間交通費 H15及びH16 2年分	100,000	50,000
新 人 勸 誘 援 助 金	28,947	30,000
剣道部支払い分OB連絡費 他負担金	50,000	50,000
剣 友 会 扱 い 連 絡 費	18,185	50,000
学連剣友会大会参加費他	56,000	56,000
学連剣友会 申込金	60,000	60,000
明生ビジネス、郵便為替取り扱い手数料	23,940	25,000
新 聞 発 行 費 用	62,773	50,000
夏合宿先生方宿泊代	24,007	25,000
新会員名札及び追加分名札	10,395	28,000
昇 段 記 念 品 代	0	30,000
慶弔電報及びお祝い代金	19,068	15,000
高 段 者 剣 道 大 会 費 用	38,625	50,000
そ の 他	16,894	20,000
支出の部合計	875,409	914,000
次 年 度 繰 越 額	622,128	758,128

平成17年6月30日現在の預金、現金 内訳

みずほ銀行 澁谷中央支店	547,848
東京三菱銀行澁谷支店	51,490
澁 谷 郵 便 局	22,790
合 計	622,128

この決算書及び予算書は、去る8月13日に開催された当剣友会総会の席上、大竹会計幹事（昭56卒）より報告、満場一致で承認されたものです。

今年度の行事予定

平成17年12月4日（日） 東京学連剣友剣道大会 「竜王杯」7名（補2名）
「鳳凰杯」5名（補1名）

平成18年 1月8日（日） 高段者剣道大会 当会会員で平成17年12月末日現在、全日本剣道連盟5段以上を取得しているもの

稽古初め・新年会

2月25～26日 冬の合宿 於 千葉県館山市 県立館山高校

役員改選

退 任 副会長 水木征二氏(昭43年卒 氏は、約15年の永きに亙り副会長として会長の補佐、40周年記念行事の実行委員長等を務め、当剣友会の発展にに多大なる貢献をされました。)

新 任 副会長 紙谷正之氏(昭44年卒)
副幹事長 高田寿氏 (昭51年卒)